

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式／特殊型（ロング・ショート型）
信 託 期 間	2013年 8 月 1 日から2023年10月30日まで。
運 用 方 針	①投資信託証券への投資を通じて、主として、 わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資を行い、安定的な収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ②各投資信託証券への投資割合は、市場動向や資金動向などを勘案して決定するものとし、投資信託証券の合計組入比率は、高位を保つことを原則とします。 ③市況動向や資金動向等に急激な変化が生じたとき、ならびにこの投資信託の残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったとき、もしくはやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	主として、以下の投資信託証券に投資を行います。 ・ケイマン籍外国投資信託（円建て）「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」 ・投資信託証券「ファイブスター・マネーブルー・マザーファンド2」
組 入 制 限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。 ・外貨建資産への投資は行いません。 ・同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	原則として年4回決算時（毎年1月、4月、7月、10月の各28日、休業日の場合は翌営業日）に次の通り収益の分配を行う方針です。 (1) 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 (2) 分配金額は、委託者が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。 (3) 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

日本株ロング・ショート・ ストラテジー・ファンド （愛称：とこしえ）

追加型投信／国内／株式／特殊型（ロング・ショート型）

償 還 運 用 報 告 書（全体版）

第21作成期

第41期（償還日 2023年10月30日）

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド」は、2023年10月30日に信託期間を満了し、償還いたしました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも、当社商品につきまして、お引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

東京都中央区入船1－2－9 八丁堀MFビル8階

照会先

ホームページアドレス：<https://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク：03-3553-8711

（受付時間：委託会社の営業日の午前9時～午後5時まで）

[運用報告書の表記について]

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率および騰落率は小数点第2位または小数点第2位未満を四捨五入しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値について小数表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

★最近11期の運用実績

決 算 期		(分配落)	基 準 価 額		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総 額
			税込み 分配金	期 中 騰落率		
第16作成期	31期(2021年4月28日)	円 12,039	円 0	% 0.1	% 98.5	百万円 455
	32期(2021年7月28日)	11,903	0	△ 1.1	98.8	442
第17作成期	33期(2021年10月28日)	11,942	0	0.3	98.7	431
	34期(2022年1月28日)	9,316	0	△22.0	97.5	325
第18作成期	35期(2022年4月28日)	8,996	0	△ 3.4	97.5	310
	36期(2022年7月28日)	8,888	0	△ 1.2	97.1	286
第19作成期	37期(2022年10月28日)	9,139	0	2.8	97.5	288
	38期(2023年1月30日)	9,022	0	△ 1.3	98.7	278
第20作成期	39期(2023年4月28日)	8,755	0	△ 3.0	97.6	262
	40期(2023年7月28日)	9,376	0	7.1	97.1	251
第21作成期	(償還時) 41期(2023年10月30日)	(償還価額) 8,777.16	—	△ 6.4	—	220

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みの数値です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針が株式ロングショートによる絶対収益追求型であり、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークは設定しておりません。

★当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託 受益証券 組入比率
			騰落率	
第41期 (償還時)	(期 首)2023年7月28日	円 9,376	% —	% 97.1
	7 月末	9,348	△0.3	97.1
	8 月末	9,394	0.2	97.1
	9 月末	9,276	△1.1	97.0
	(償還時)2023年10月30日	(償還価額) 8,777.16	△6.4	—

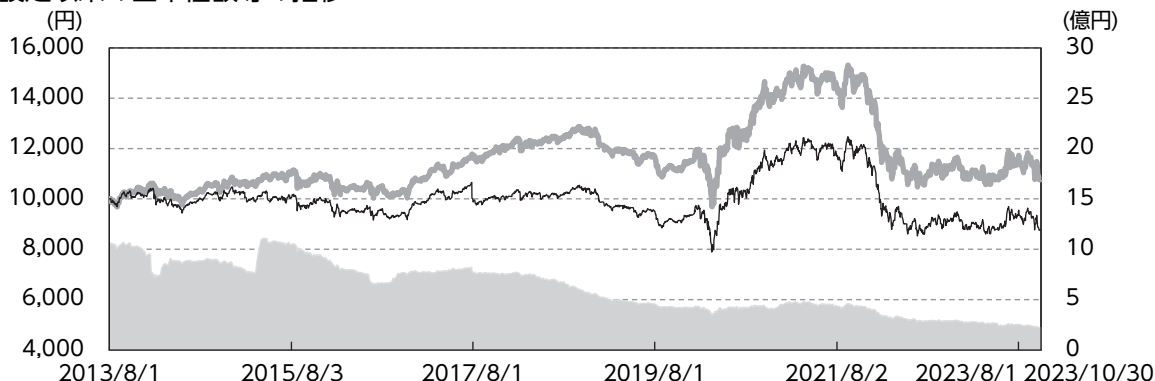
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドの運用方針が株式ロングショートによる絶対収益追求型であり、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークは設定しておりません。

★運用経過

☆設定以来の基準価額等の推移



純資産総額 (右軸)
 分配金再投資基準価額 (左軸)
 基準価額 (左軸)

設定日：10,000円

期末（償還日）：8,777円16銭

（既払分配金2,100円）

騰落率：△6.4%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、2013年8月1日（設定日）の値を基準価額に合わせて指数化しています。

☆基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2023年8月：下旬、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB（連邦準備制度理事会）議長の講演内容ではややタカ派的ではあったものの、事前の市場は警戒ムードを高めていただけに、およそ想定内との印象を市場に与え、イベントを無事に通過したとの安堵感が広がり、米国株が上昇したことを好感し、保有するロング（買い）ポジションがプラス寄与となりました。
- ・2023年10月：上旬、米政府系機関の一部閉鎖が回避されたことや米FRB高官が追加利上げに対して慎重な見方を示し米国債金利が低下したことを好感し、世界的に株価が上昇に転じ、保有するロング（買い）ポジションがプラス寄与となりました。

<下落要因>

- ・ 2023年8月：上旬から中旬、フィッチ（格付け会社フィッチ・レーティングス）が米国債格付けを引き下げたことと、日銀によるYCC（イールド・カーブ・コントロール）政策の柔軟化で、日米と共に金利が上昇したことに加え、下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB（連邦準備制度理事会）議長の発言への警戒感が重荷となり、保有するロング（買い）ポジションがマイナス寄与となりました。
- ・ 2023年9月：20日の米FOMC（連邦公開市場委員会）において政策金利は据え置かれたものの、先行きの政策金利見通しにおいて2024年末の金利見通し（中央値）が前回から0.5%引き上げられ上方修正されたことで、米国の金融引き締め政策の長期化懸念が強まり、世界的に株価が下落したことで、保有するロング（買い）ポジションがマイナス寄与となりました。

☆投資環境

(期初2023年7月29日～期末2023年10月30日)

本ファンドの期末には日経平均株価指数は30,696.96円となり、期初前日の32,759.23円と比較して－2,062.27円下落し－6.30%の下落率となりました。また、同期間のTOPIX株価指数(配当込み)は、－64.88ポイント下落し－1.70%の下落率となりました。また、同期間の東証マザーズ指数は、－123.10ポイント下落し－16.11%の大幅な下落率となりました。

日本株式市場は、期初の8月上旬では、フィッチ(格付け会社フィッチ・レーティングス)が米国債格付けを引き下げたことや、下旬に予定されているジャクソンホール会議でのパウエルFRB(連邦準備制度理事会)議長の発言への警戒感が高まったこともあり、上値の重い展開となりました。下旬には、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の講演内容がおよそ想定内との印象を市場に与え、また、米国の経済指標が軟調だったことから、米FRBの金融引き締め政策継続の観測が後退して米国債金利の上昇の勢いが止まり、米国株の上昇を受けて、上昇しました。9月も堅調を維持して、中旬にかけて、市場で警戒された8月の米CPI(消費者物価指数)の発表を大きな波乱なく通過し、米国の金融引き締め長期化への過度な警戒感が和らいだことなどを受けて、半導体製造装置や電子部品の関連株が相場の上昇をけん引しました。しかし、中旬以降は、米FOMC(連邦公開市場委員会)において政策金利は据え置かれたものの、2024年以降の利下げペース鈍化の可能性が高まったことを受け、欧米金利が上昇傾向を強めたことから、株価は世界的に下落に転じました。10月上旬は、米政府系機関の一部閉鎖が回避されたことや米FRB高官が追加利上げに対して慎重な見方を示したことなどを好感して中旬にかけて上昇しましたが、その後、9月の米CPIが市場予想をやや上振れしたことなどをきっかけに米長期金利が上昇基調を再び強め、およそ16年ぶりに一時5%を超えて上昇したことが嫌気され下落に転じました。米国金利が更に上昇を続ける中、中国経済への懸念や中東情勢の緊迫化などが加わり、当期末にかけて、下落幅を拡げる推移となりました。

☆当該投資信託のポートフォリオ

○当ファンド

当ファンドは「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」および「ファイブスター・マネープール・マザーファンド2」を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当作成期末時点で、当ファンドにおける「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」の組入比率は0%、「ファイブスター・マネープール・マザーファンド2」の組入比率は0%となりました。

○とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド

徹底したボトムアップ・アプローチにより、高い収益性を有しながら株価に十分反映されていない銘柄を選定し、日本株式ロング・ショート戦略^(注)により、株式市場の変動による影響を軽減しつつ、中長期的に積極的なプラスのリターンを目指して運用を行いました。

当期においては、投資対象を特定のテーマや業種などに限定せず、また、バリュー株（割安株）やグロース株（成長株）のいずれも幅広く投資対象として運用を行いました。中長期投資を主眼としながらも、短期的な投資リターンの極大化という観点を取り入れて、絶対収益の獲得を目指した機動的な運用を行いました。結果、当期間の基準価額は、-6.39%のマイナスリターンとなりました。

（注）将来の成長が見込まれる株式を買建て（ロング・ポジション）し、その一方で、過大評価されていると判断される株式を主に借株により売建て（ショート・ポジション）する運用戦略です。

○ファイブスター・マネープール・マザーファンド2

主として、国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の相対的に安全性の高い国内の短期金融資産を主要投資対象として、投資信託財産の安定した収益の確保を目指しました。当期は、日本銀行による金融緩和政策のもと、残存1年以内の短期金融資産がマイナス金利となる中、無利息金銭信託を通じて、流動性の確保を図りました。

☆当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数などは設定しておりません。

☆分配金

設定来より、「運用の基本方針」に定める収益分配方針により、以下の通り、分配を行ないました。

決 算 日	分 配 金	決 算 日	分 配 金
2013年10月28日	200	2018年10月29日	60
2014年 1 月28日	150	2019年 1 月28日	0
2014年 4 月28日	0	2019年 5 月 7 日	0
2014年 7 月28日	0	2019年 7 月29日	0
2014年10月28日	20	2019年10月28日	0
2015年 1 月28日	250	2020年 1 月28日	0
2015年 4 月28日	250	2020年 4 月28日	0
2015年 7 月28日	50	2020年 7 月28日	0
2015年10月28日	0	2020年10月28日	0
2016年 1 月28日	0	2021年 1 月28日	0
2016年 4 月28日	0	2021年 4 月28日	0
2016年 7 月28日	0	2021年 7 月28日	0
2016年10月28日	0	2021年10月28日	0
2017年 1 月30日	0	2022年 1 月28日	0
2017年 4 月28日	90	2022年 4 月28日	0
2017年 7 月28日	650	2022年 7 月28日	0
2017年10月30日	180	2022年10月28日	0
2018年 1 月29日	0	2023年 1 月30日	0
2018年 5 月 1 日	200	2023年 4 月28日	0
2018年 7 月30日	0	2023年 7 月28日	0

★ 1 万口当たりの費用明細

項目	第41期		項目の概要
	(2023年7月29日～2023年10月30日)		
	金額(円)	比率(%)	
(a) 信託報酬	28	0.30	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,339円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(投資証券)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(先物オプション)	(－)	(－)	
(信用)	(－)	(－)	
(投資信託受益証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(投資証券)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(先物オプション)	(－)	(－)	
(信用)	(－)	(－)	
(投資信託受益証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	21	0.23	(d) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、交付目論見書・交付運用報告書等の作成・印刷・送付に係る費用、計理業務費用、届出書類作成等費用 信用取引は、信用取引に係る品貸料、未払配当金等 その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料
(保管費用)	(－)	(－)	
(監査費用)	(10)	(0.11)	
(印刷費用)	(11)	(0.12)	
(信用取引)	(－)	(－)	
(その他)	(0)	(0.00)	
合計	49	0.53	

(注 1) 期中の費用(消費税にかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

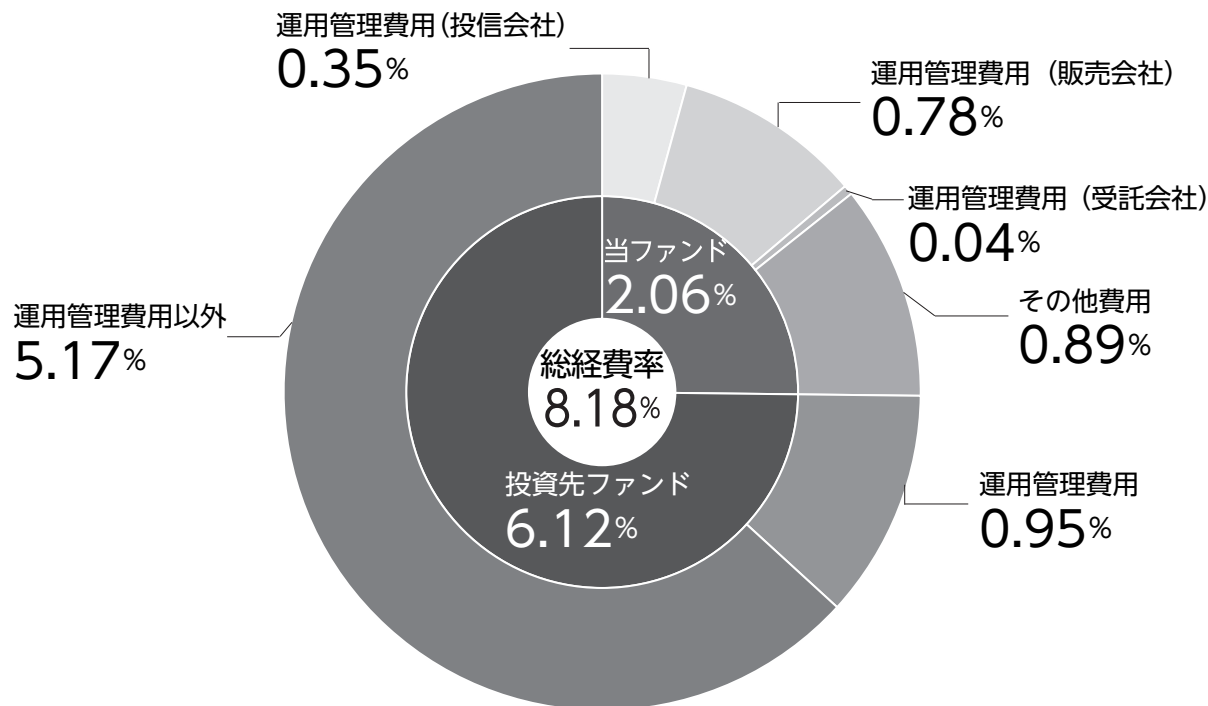
また、各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 2) 各比率は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は8.18%です。



総経費率 (①+②+③)	8.18%
①当ファンドの費用の比率	2.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.95%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	5.17%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 運用管理費用には実績報酬が含まれます。

★売買および取引の状況（2023年 7 月29日～2023年10月30日）

（1）親投資信託受益証券の設定・解約状況

項 目	第41期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ファイブスター・マネープール・マザーファンド2	千口 －	千円 －	千口 2, 219	千円 2, 193

（2）投資信託受益証券

銘 柄 名		第41期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (ケイマン)	Tokoshie Japan Equity Long Short Strategy Fund	口 －	千円 －	口 16, 500	千円 230, 600

(注) 金額は受渡代金。
(注) Tokoshie Japan Equity Long Short Strategy Fundととこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンドは同じものです。

★利害関係人との取引状況等（2023年 7 月29日～2023年10月30日）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

★組入資産の明細（2023年10月30日現在）
償還日現在、有価証券の組入れはありません。

★投資信託財産の構成（2023年10月30日現在）

項 目	償還時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コールローン等、その他	222, 240	100. 0
投資信託財産総額	222, 240	100. 0

★資産、負債、元本及び償還価額の状況

2023年10月30日現在	
項 目	償還時
(A) 資 産	222, 240, 427円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	222, 240, 427
(B) 負 債	1, 255, 274
未 払 信 託 報 酬	714, 642
そ の 他 未 払 費 用	540, 632
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	220, 985, 153
元 本	251, 772, 943
償 還 差 損 益 金	△ 30, 787, 790
(D) 受 益 権 総 口 数	251, 772, 943口
1 万口当たり償還価額 (C／D)	8, 777円16銭

(注1) 当ファンドの期首元本額は268, 602, 616円、期中追加設定元本額は20, 742円、期中一部解約元本額は16, 850, 415円です。
(注2) 1口当たり純資産額は第41期(償還時)0. 877716円です。
(注3) 元本の欠損
償還時において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は30, 787, 790円です。
(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

★お知らせ
該当事項はございません。

★損益の状況

第41期 自2023年 7 月29日 至2023年10月30日	
項 目	第41期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 13, 864, 884円
売 買 益	201, 973
売 買 損	△ 14, 066, 857
(B) 信 託 報 酬 等	△ 1, 256, 180
(C) 当 期 損 益 金 (A＋B)	△ 15, 121, 064
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 17, 373, 904
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1, 707, 178
(配 当 等 相 当 額)	4, 005, 557
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 2, 298, 379
(F) 合 計 (C＋D＋E)	△ 30, 787, 790
(G) 収 益 分 配 金	0
償 還 差 損 益 金 (F)	△ 30, 787, 790

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 当運用報告書作成時点では監査未了です。

★投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年 8 月 1 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年10月30日			
区 分	投 資 信 託 契 約 締 結 当 初	投 資 信 託 契 約 終 了 時	差 引 増 減 又 は 追 加 信 託	資 産 総 額	222,240,427円
				負 債 総 額	1,255,274円
受 益 権 口 数	1,054,350,000口	251,772,943口	△802,577,057口	純 資 産 総 額	220,985,153円
				受 益 権 口 数	251,772,943口
元 本 額	1,054,350,000円	251,772,943円	△802,577,057円	1 万口当たり償還金	8,777円16銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 1 期	1,017,891,832円	1,025,167,571円	10,071円	200円	2.0000%
第 2 期	719,006,180円	720,973,642円	10,027円	150円	1.5000%
第 3 期	908,304,477円	886,056,548円	9,755円	0円	0.0000%
第 4 期	885,898,684円	885,907,252円	10,000円	0円	0.0000%
第 5 期	860,036,539円	860,368,863円	10,004円	20円	0.2000%
第 6 期	780,835,010円	784,503,621円	10,047円	250円	2.5000%
第 7 期	1,072,849,823円	1,076,069,414円	10,030円	250円	2.5000%
第 8 期	1,038,493,133円	1,040,267,333円	10,017円	50円	0.5000%
第 9 期	952,091,022円	934,904,999円	9,819円	0円	0.0000%
第 1 0 期	869,531,641円	827,837,443円	9,520円	0円	0.0000%
第 1 1 期	810,563,895円	771,060,985円	9,513円	0円	0.0000%
第 1 2 期	695,053,016円	665,548,438円	9,576円	0円	0.0000%
第 1 3 期	811,791,880円	768,850,654円	9,471円	0円	0.0000%
第 1 4 期	778,330,058円	773,759,966円	9,941円	0円	0.0000%
第 1 5 期	791,146,311円	791,813,085円	10,008円	90円	0.9000%
第 1 6 期	771,197,400円	772,752,747円	10,020円	650円	6.5000%
第 1 7 期	754,225,128円	754,442,552円	10,003円	180円	1.8000%
第 1 8 期	739,588,380円	766,438,017円	10,363円	0円	0.0000%
第 1 9 期	706,939,510円	705,560,341円	9,980円	200円	2.0000%
第 2 0 期	660,121,590円	673,419,590円	10,201円	0円	0.0000%
第 2 1 期	550,385,786円	564,684,236円	10,260円	60円	0.6000%
第 2 2 期	517,030,807円	503,318,209円	9,735円	0円	0.0000%
第 2 3 期	496,289,412円	478,998,355円	9,652円	0円	0.0000%
第 2 4 期	479,463,120円	457,102,195円	9,534円	0円	0.0000%
第 2 5 期	461,297,055円	418,887,441円	9,081円	0円	0.0000%
第 2 6 期	443,227,788円	424,956,094円	9,588円	0円	0.0000%

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 2 7 期	415,522,485円	397,647,068円	9,570円	0円	0.0000%
第 2 8 期	408,727,623円	420,210,104円	10,281円	0円	0.0000%
第 2 9 期	361,036,986円	410,670,299円	11,375円	0円	0.0000%
第 3 0 期	390,222,177円	469,529,754円	12,032円	0円	0.0000%
第 3 1 期	378,502,851円	455,687,900円	12,039円	0円	0.0000%
第 3 2 期	371,359,977円	442,029,680円	11,903円	0円	0.0000%
第 3 3 期	360,934,409円	431,028,862円	11,942円	0円	0.0000%
第 3 4 期	349,751,707円	325,815,764円	9,316円	0円	0.0000%
第 3 5 期	344,935,126円	310,301,855円	8,996円	0円	0.0000%
第 3 6 期	322,843,145円	286,934,674円	8,888円	0円	0.0000%
第 3 7 期	315,371,690円	288,229,337円	9,139円	0円	0.0000%
第 3 8 期	308,445,444円	278,284,863円	9,022円	0円	0.0000%
第 3 9 期	300,237,772円	262,846,599円	8,755円	0円	0.0000%
第 4 0 期	268,602,616円	251,842,075円	9,376円	0円	0.0000%

★償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	8,777円16銭
-----------------	-----------